越谷町広報

（定価 二円）
編集と発行
埼玉県南埼玉郡
越谷町役場
電話越谷42,517,519,522番

十 月（かんなづき）

日	月	火	水	木	金	土
…	…	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	…	…

× 行 事 ×

一日 新市町村促進法施行
新教育委員会法施行
赤い羽根募金運動（一カ月）

七日 秋の大掃除（十四日まで）

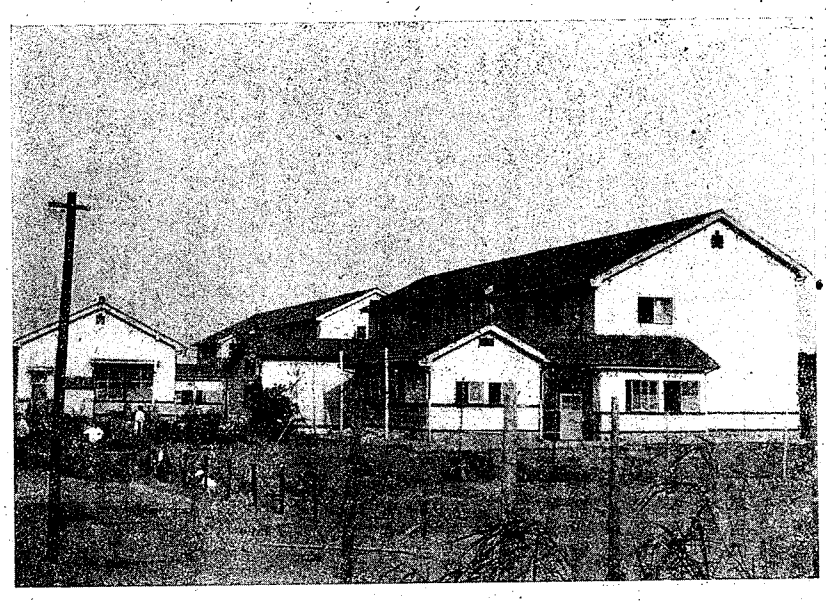
十日 眼の愛護デー

今月は町県民税第三期の納期です

新町建設の一大事業

東中建設ここに成る

東中建設工事は一カ年の日数を経、二期に分けて工事が進められましたが、その第二期工事がめでたく竣工し、増林、大相模両地区住民がかねて待望しておりました東中学校は、ここに完成をみて、元荒川河畔にその偉容を誇ることになりました



東中学校の落成を祝う式典は県教育長、地元県議、町議、教委をはじめ町内、地元関係者多数の来賓を迎えて、去る廿五日午後一時から新装なつた校舎で盛大かつ厳粛に挙行されました、当日は折悪しく小雨が降り出し切角前々から今日のよき日を迎えるための準備が、学校教職員生徒をはじめ地元PTA、東懇談会の方々で進められ、式典祝賀会場が校庭に立派に出来上つたのでありましたが、やむなく校舎で行うことになり、この間のご努力は並大抵でなかつたと存じます、先づ式典は池ノ谷助役の開式のことばにはじまり、長式辞があり、教育長あいさつ建設課長の工事経過報告、第二期工事にあたつた武蔵建設KKに感謝状の贈呈があつて、来賓方々からの祝辞、東中生徒による校歌斉唱を最後に式典はとどこうりなく終了しました、直に祝宴にうつり、東中PTA、東懇談会のお骨折りで五会場に分れ一同冷酒をあげて今日のよろこびを分ちあいました、完成した東中学校の概要は次のとおりです

▽第一期工事

1、工事請負費＝九、四六八、〇〇〇円

2、規模＝(イ)校舎（木造瓦葺二階建一棟）一八五坪(ロ)管理室（右同平家建一棟）一〇五坪(ハ)生徒便所（右同一棟）一一坪(ニ)渡り廊下（右同一棟）一五坪計三一六坪

▽第二期工事

1、工事請負費＝六、四八〇、〇〇〇円

2、規模＝(イ)校舎（瓦葺二階建一棟）二〇五坪八合六勺(ロ)生徒便所（右同平家建一棟）一一坪四合四勺(ハ)渡り廊下及シャワー室（右同一棟）八坪八合、計二二六坪一合

▽附帯工事（給水、井戸、電気雑工事等を含む）一、八七四、四〇一円

▽総工費 一七、八二二、四〇一円

▽敷地関係費（埋立、買収費含む）五、〇八一坪分 二、五六万円

町長式辞要旨「かねて増林大相模両地区住民が待望していた町立東中学校が二年度にわたる継続施工をへてここに完成し新装なれる東中の竣工式をば多数の来賓と父兄諸賢の御列席のもと、盛大かつ厳粛に挙行することになりましたことは、ただに教師生徒父兄のよろこびのみでなく、実に越谷町四万七千人のよろこびであり私どもその局にあたる者の感激措く能わざるところであります大相模、増林両中学校を打つて一丸とした東中学校の出現は新しい越谷町の一大転機を象徴するものであります、この劃期的両中学校の統合が容易に実現し得たことは、要するに、いわゆる天の時、地の利、人の和を得て、ここに二千万円の巨費を投じた新町最初の一大事業が完工したのであります、父兄の方々にはむろんのこと、ここを学び舎とする五百四十七の生徒諸君は、今やここを学びの故郷、心の住いとして、この新しい門出を誇りつつ、校歌の冒頭にも「いざ友を讃えよ、東の光を、理想の学園われらが東中」と謳歌しているのであります、げに「光は東方より」であります、町村合併による大越谷町の出現によつて旧殻にとぢこもる封建制の夢はやぶれて大同団結の新時代が訪れたのであります、元荒川左岸に属する地域も、新町百年右岸に属する地域も、また大の大計を思つてその建設の構想を断然新にすべき秋であると申さねばなりません、この意味において越谷町文教の将来は、この東中学校実現によつて、その方向をば大きく光示されたものというも過言ではないと信じるものであります、最後に本事業の計画と実現にあたつて絶大なご協力と御理解とを惜まなかつた関係の各位に対しまして、心から敬意と謝意を表明し式辞といいします」

9月定例町議会

慎重審議

十三件を可決

正副議長再選さる

既報のとおり昭和卅二年度越谷町歳入歳出追加更正予算外十二件を審議する九月定例町議会は、去る十八日午前十時十八分役場会議室において開会されました、特に本定例会には全議案の議事終了後突如正副議長の辞職願いが提出され、受理したあと選挙が行われました

先づ横田議長から会期の決定並ばかり、議長一任により会期は会議録署名議員の選任について二十八、十九の両日とし、会議録署名議員に藤田岩太郎、岡安忠蔵、須賀義正の各議員を議長指名どうり決定したあと諸報告として監査結果の報告、東中大相模分校移築と、蒲小増築の請願二件が報告され、以上二件は文教常任委員会に附託することに決り、更に厚生常任委員会の結果報告があつて町長から上提された議案別掲十三件の日程をきめて審議に入りました、各議案とも慎重審議の結果全件原案通り可決決定され午後二時四二分終り、直に正副議長問題の審議に移りました。以下各議案についての審議結果を申し上げます

十月一日から 諸證明の手数料 四十円に

「日程一」五七号議案越谷町手数料条例の一部改正…地方自治法の定めにより私達の生活上必要な諸証明の手数料を定めてある町手数料条例の一部を改正したもので、いままで諸証明の手数料一件につき三十円であつたものを、今回政令にもとづいて四十円に改めたものです、したがつて十月一日からの諸証明の手数料は四十円となります、戸籍に関する手数料は政令ですでに一枚につき四十円で八月一日から実施されております

新に国民健康保険課設置

「日程二」五八号議案越谷町課設置条例の一部改正…いままで厚生課の事務になつていた特別会計の、国民健康保険施設、事業両勘定をきりはなし、新に国民健康保険課を設置して、これが運営をすることになつたものです、ご存じのとおりいままでの厚生課の事務は非常に広範囲であるので国保課を設置して運営することが、今後の国保運営によいところから、これが運営機関である国保運営協議会にはかつたところ、全面的賛成を得て本議会に提案されたわけです

「日程三、四」五九、六〇号議案土地買収…五九号土地買収は会田ふじ外一名の所有地一〇六坪を町立越ケ谷中学校敷地にあてるため、坪千円の十万六千円で買収するものです、六〇号土地買収は先に議会で決定をみた上、水道の浄水場敷地への取付道路をつくるため、遊園地及び浄水場取付道路用として岡崎次郎兵衛氏外二名の所有地一五五坪を坪一、五〇〇円の廿三万二千五百円で買収するものです

教育委員に 浅井氏選任さる

議案越谷町教育委員会の委員、六三号同越谷町固定資産評価審査委員会の委員六三号同越谷町監査委員…以上三委員の選任同意を求めること（写真は浅井堅教氏）

「日程五」六一号学識経験者諏訪栄次郎氏退職にともない新に前固資評審委員であつた井橋太郎兵衛氏がそれぞれ、町長が選任し議会の同意を得たものです

「日程六」六四号議案起債を起すこと…六五号同町議会の権限委任…「日程七」六六号同専決処分報告

六四号は消防四輪車自動ポンプ購入費（すでにお知らせしたとおり、町消防団大沢分団に引渡した四輪自動車ポンプをいいます）として壱百万円政府から年利六分三厘以内で借入れたもので一年据置九年償還となつています

六五号は町の投資的事業を行うものです、一方才出においては主として国保課設置に伴う職員費である役場費五九万三千五百十二円、また保健婦の増員に伴う今後支給する職員費などの更正よる必要を生じ町議会を招集する暇がなかつたので、地方自治法の定めるところによつて町長が卅二年度町歳入歳出追加更正予算（第四回）を専決したものです

六六号は東中学校整備費の国庫負担金が当初予算に見積つた金額より減少したので、急に追加

三百十五万七千五百円追加

一般会計

「日程八」六七号議案昭和卅三年度越谷町歳入歳出追加更正予算（第五回）

今回の追加更正予算は三百十五万七千五百円で、これが編成には健前財政を堅持するため、極めて乏しい手持財源と新規財源の稔出に工夫をして、住民の福祉増進の事業費を計上するかに努力をし計上させていただいたものです、主として消防費、土木費保健衛生費等の追加更正で、これらの財源としては、調定の自然増収と三%の徴収成績引上に伴う町民税の二六〇万円（法人一般を含む）、物品売払代金五万八千円、戸籍手数料令及び町手数料条例の改正による増収分四万六千六百円、数育費関係の国庫支出金十六万三千円、防除機具新農村建設附帯工事等の県補助金七万四千五百円、下水工事費や東中垣根工事等の地元からの寄附金十二万円、繰越金九万五千四百円となつており、以上の才入総額三百十五万七千五百円となつております

一方才出においては主として職員の退職金や広報費の役場費十八万二千円をはじめとし、消防費三十万円（可搬式ポンプ購入費）道路橋梁などの維持、改良等の土木費百四十五万円、教育費は款内各費の所要額を整理し更正の上不足分十七万円、大袋地区に多発した伝染病予防対策のための大半の費用である保健衛生費百三十九万五千八百円、産業経済費、農協再建のため費用新農村建設費などを合せて七三万七千五百円、小売物価統計調査費三万円、最後に諸支出金として主に合併三周年記念式典費六十万円を追加計上したのみで費目減額によつて二七万七千円減額し、以上それぞれ追加いたしました、これで才出総額三百十五万七千五百円で、当初予算以来の累計額は一億三千九百五十七万五千三百十五円となります

二百七万七千余円の追加

特別会計

「日程九」六八号議案卅二年度越谷町国保事業勘定（二回）、六九号同国保施設勘定（一回）両会計追加更正予算

六八号は二百七万七千五十一円の追加で、これを既定予算に加えますと、総額二千四百六十一万五千七百二円となります、才入は前年度繰越金が三百七万八千五十一円の見通しがつき、一般会計からの繰入金を百万円更正減額し差引き二百七万七千五十一円の追加となつたものです、一方才出においては主として国保課設置に伴う職員給などの更正減額を行い、消耗品、燃料など不足を生じたので、需要費に十九万五千円を追加し、第三診療所の医師住宅修繕や給食費などに追加したものです

保健施設費三五万六千九百七十八円と町条例の定めによつて、繰越金から百万円の準備金の繰入れを行うため九九万九千円を積立金としてそれぞれ追加計上し、予備費は才入才出の差額を計上したもので以上才出追加総額は二百七万七千五十一円です

六九号は才出のみ追加更正したもので予算総額は七百四十万三千五百九十四円の当初予算と変動はありません、才出の追加更正の主なものは、職員の異動に伴う職員給などの更正減額を行い、消耗品、燃料など不足を生じたので、需要費に十九万五千円を追加し、第三診療所の医師住宅修繕や給食費などに追加したものです

上水道起債三百万円決る
議会にはかり着工

上水道については昨年九月十七日厚生・建設両大臣から上水道新設の認可を得ていましたが、その後これが工事資金となる起債の認可を、県を通じて自治庁その他へ申請中でありました、勿論これが起債認可の運動は、町長、議長、商工会、婦人団体等によつて再々行われておりました、幸い去る九月廿五日県総務部長から上水道の起債許可予定額が決定されたとの通知に接し、参百万円が本年度政府から借入れることになりました、政府が緊縮政策のためその額は参百万円でありましたが、明年度からは継続事業として相当額が見込まれることであり、これを機会に上水道工事の進め方には、工費支払い方法等を研した上、町議会にはかり着工の運びとなります、上水道工事に関する動きは号を追つてお知らせいたします

十月の農作業

▽稲の採種……稲は自家受精を本体としているけれども約〇・九％の自然交雑が行われているから、採種には花粉の飛散しにくいだけの距離（約一間は最短距離と考えなければならない）を隣りの品種から隔てなければなりません、採種予定田についてはあらかじめ出穂登熟期中によく見まわつて、混り穂などがあれば除去しておかねばなりません、採種株の刈取りは普通より一週間ぐらい早目に一株づつ注意しながら行う、刈取つた株はよく乾燥して、籾を傷めないようにていねいに脱穀します、回転脱穀機を使用する場合には、その回転を毎分三百回以下に下げることです、

▽ソラマメ、エンドウの播種　本月中旬はソラマメ、エンドウの場合は努めて早く畦立を行つて播種準備をしなければなりません、ソラマメは種子が高価なので、直播よりも床播として定植するとよいです、播床は砂床とし、巾一・二メートル（四尺）、長さ適宜とし、オハグロを斜下に密に播種します本葉一～二枚の苗時までに定植するのが活着良好です、昨年のように乾燥すると減収しますので堆肥を多く株元に敷ワラをするとよいです

▽秋野菜の肥培管理……白菜、積菜は冷涼となると発育最盛期になるので肥切れのないように追肥をするとよいです、尚本年は九月上、中旬の悪天候で生育がおくれていますから、中耕を行つて根の発育を促進することです、又ベト病、白班病、黒班病腐敗病、アブラムシの発生に注意して防除に努めることが大切です

（越谷地区農業改良普及所）

図書館だより

○第二十六回読書会のお知らせ
時　昭和三十二年十月十九日午後三時から
場所　越ケ谷小学校
テーマ　室生犀星作「性に眼覚める頃」
どなたでも御自由に御参加下さい

○視聴覚器材寄贈
九月十八日越ケ谷町美富士電機㈱光楽事業部からラジオ兼用電気蓄音器一台が本館へ寄贈されました、本館では此の厚志に応え視聴覚器材として適切な運用を期し度いと思います、深く謝意を表します

○本館の増築工事は予定通り進行中ですが、竣工は幾分遅れて十月下旬となる見込みです

農業委員会人事異動
▽退職八月三十一日付
大久保菊太郎

広報板

さあ秋の大掃除

本年も秋の大掃除がまいりました、毎年春秋の二回、清掃法によつて全国的に行われるもので、この大掃除は私達生活の上の一つの行事です、特に本年は伝染病が多発しており、この恐ろしい伝染病を媒介するハエや蚊の発生源を徹底的に掃除いたしましょう、実施日割は次のとおりとなつております

△大掃除実施期日（地区別）
十月七日　蒲生、川柳
〃　八日　大相模、増林
〃　九日　出羽、荻島
〃　十日　大袋、桜井
〃十一日　新方
〃十二日　大沢
〃十四日　越ケ谷

赤い羽根募金運動はじまる

国民たすけあい赤い羽根共同募金運動は、本年も十月一日から一カ月間全国的に実施されます、本年当町に割当られた額は四七五、六一〇円で一世帯平均六十五円となつております、この募金には町民みなさんのご協力で、年々優秀な成績をおさめ、県内町内の不幸な人々のために、その福祉増進に多大の貢献をしております

本年最後の護国神社勧募金

わたくし達の肉親、朋友、知己、郷友であつた方々をまつる護国神社奉賛会勧募金は、本年も共同募金（赤い羽根）と併せ実施されます、この募金は三カ年計画で募金され、護国神社の整備復旧にあてられるもので本年が最後になつております、当町目標額は十九万四千八百四十二円で、一世帯平均二十六円です、年々これが深いご理解をよせられ好成績を得られましたことを厚くお礼申し上げます（以上厚生課）

十月四日に婦人学級

当町連合婦人会の第三回中央婦人学級は次により開催されます

▽日時＝十月四日（金）午後一時―四時
▽会場＝越ケ谷町蒲生公民館
▽講義＝演題「民法について」
▽講師＝県婦連会長大友よふ氏

休電予定速報

越ケ谷変電所増強工事（現在四、五〇〇KVAを九、〇〇〇KVAに増強）のため次の日時に休電させていただきます

▽十月十八日（金曜）午前六時から同十一時までの五時間
▽十月廿五日（金曜）午前六時から同十時までの四時間

なお当日雨天の場合は順延させていただきます

（東京電力越ケ谷営業所長）

基本選挙人名簿に登載もれはありませんか

既報の通り九月十五日現在で調製する基本選挙人名簿は、目下町選挙管理委員会で調製中です、本年こそは一人のもれもなく名簿に登載されますよう、有権者のご協力をおねがいします

（越ケ谷選管委員会）

改選当初の申合せで
正副議長の選挙

（一面よりつゞく）

以上説明申し上げました議案の審議終了後、議長の辞職願いが大貫副議長から突如提案され辞職の理由がのべられて、受理するか否かをはかりましたところ改選当初各議員の申し合せでもあるので受理すべきであることに全会一致決定、ついで議長の選挙にあたり即日決めるべきであると後日にきめるべきであるとの二つの意見が出、結局投票によつていずれかを採決すべきであるとの意見に一致、投票の結果即日行うべきである投票が多く直に議長の選挙を行うことになりました、先づ投票開票立会人に深井哲三郎、井出門平、岡本和三郎各議員が、議長指名通り選ばれて議長選挙が行われたところ横田正男氏が再選されました、ついで再選された横田議長が大貫副議長と交代し議長席につき、副議長の辞職願が提案され、全会一致辞表を受理して直に選挙に移りました、投票開票立会人は議長選挙と同じく議長指名どおり決定して直に投票に移り、開票の結果大貫亥蔵氏が再選されました、正副議長選任後、再選された正副議長から力強いあいさつがなされ、先に報告した請願二件は文教常任委員会の継続審査に附することに決定して、ここにとどこうりなく全議事を午後四時十五分終了閉会いたしました、閉会後全員協議会のかたちで合併三周年記念祝賀行事要項案について協議し、細い具体的なことは準備委員会にゆずることとし大綱をきめて午後五時十五分散会しました

横田議長　再選のあいさつ「議長選出については、改選当初各位の申し合せにより二カ年ということでありますので、政治的責任を果すため辞任を申し出ました、幸い各位にはこれを了とせられこ承認下さいまして議長選挙を行われましたが、再び各位のご支援をいただきまして議長の責を負うことになりました、越谷町は早くも合併してから三年になりますが、大越谷町の建設事業をなすのはこれからであります、私達議員は常に公正な立場で事を判断処理し、思いを町民福祉増進に専念して町民を幸福な文化生活が出来るよう務めねばなりません、それには和衷協同の誠をもつて相互に尊敬し円満裡に議会の運営を図つて越谷町発展に務めることであります、私も一層町政に努力いたす考えでございますので何卒ご支援の程をおねがいします」

―あちら―こちら―

めづらしい出羽の魚獲祭

出羽中PTA主催恒例の魚獲祭は去る廿二日午後三時から中学校において、PTA理事、学校教職員、一般教育関係者約六十人が参加して行われました、この魚獲祭とは、教育懇談を主眼として、お互いが意見を交換して当地区教育の推進をはかろうとするもので、毎年九月になると中学校構内にある池を掻掘して魚をとりそれを料理して、この催しをするというものでいわば意気投合というところです

（出羽中斎藤校長より）

出羽地区で青年学級開かる

出羽青年学級では農繁期の六、十、十一各月を除く毎月、毎週二、七の日男子、同土曜日女子として青年学級を行つてきていますが、去る十七日午後七時から十時まで中学校において交通法規、防犯講話を越谷警察署の係官を講師に実施されました

越谷町武道振興会発足

既報のとおり当町武道振興会結成の準備を急いでおりましたが漸く結成の運びとなり、その発会式並びに武道大会が去る十五日越谷高等学校々庭に二百名の参会を得て行われました、先ず午前九時に開会され結成準備委員長野口越谷警察署長の経過報告あり、規約、予算を全会一致原案通り決定して役員の選出にうつり、規約にもとづいて決定、初代会長大塚町長のあいさつ来賓多数の祝辞あつて武道大会は銃剣道、剣道、柔道、空手などの各部にわかれ、はなばなしく行われ、各部共優勝者に記念品を贈呈して午後四時三十分とどこおりなく終りました

（写真は武道大会）

蒲生小学校歌制定さる

蒲生小学校では、校歌を制定しようと、作詞を下山つとむ先生、作曲を芥川也寸志先生にそれぞれ依頼しておりましたが、このほど出来上り、その制定披露式を去る十七日午後一時から小学校で行われました、校歌は次のとおりです

蒲生小学校々歌　下山つとむ作詩

一、朝はつくばの白い雲
きよいこころがわいてくる
夕はちちぶの青い山
とおいむかしがしのばれる
あおいでまなぼう　この窓に

二、空はかがやく日のひかり
育つわれらをてらしてる
大地はみどりがはてもなく
わかいわれらをつつんでる

三、元気でのびようこのそのに
秋はみのりにたゆみなき
いのちをこめる早苗みよ
われらもきぼうにもえたつて
強く正しくいきようよ
さかえよ蒲生小学校

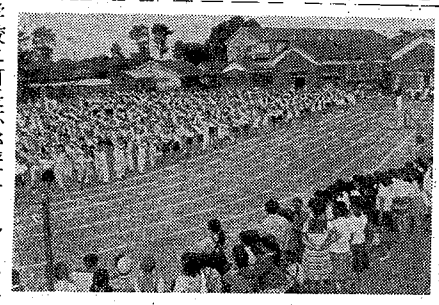
増林婦人会おんぼろ楽団がおとしよりを慰安

十五日のとしよりの日を期して当町各地区でくりひろげられた敬老会のうち、ここ増林地区の敬老会は増林婦人会独特の二十余名で組織するおんぼろ楽団による余興で、参会したおとしより達を笑いと、興味で十分慰安しました、この敬老会は去る廿二日増林小学校講堂に七十才以上の高齢者百七十三名を招き行われたもので、おとしよりを幸福にそして敬愛の心をという気持が招く人々の気持にありありとうなづけました、おとしより達も今日一日のこうしたふん囲気を心の糧として更に生きがいのある生活がつづけられることでしよう（島田晴雄氏より）

各地区の話題

越谷町小学校合同運動会

管内小学校四、五、六年生徒選手約五百名が越ケ谷小学校々庭に集合し、小学校合同運動会が去る廿四日開かれました、午前九時開会式が行われたあと各種目が次から次へと繰りひろげられ、各校応援団や参観者約五百名が盛んに声援をおくり、小学校陸の祭典は午後五時終りました、なお総合優勝校越ケ谷小学校に町長杯が授与されました



（写真はその一コマ）

青年団各地にサイクリング

越ケ谷町青年団では九月十五日各分団からの参加者総勢二十数名でサイクリングを行いました、朝七時過ぎ役場庁舎前出発、浦和、志木、所沢を経て十時半西部園に到着、狭山湖を半周して昼食、揃つてユネスコ村見学、一時帰途につき田無、石神井、練馬、板橋、王子、西新井を走破して六時無事帰越しました、又同日蒲生分団では十数名の女子を含めた三十余名の一行で、県下の遺跡である吉見の百穴にサイクリングを行いました

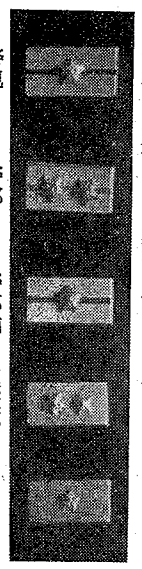
病苦の家庭を援助
堀之内部落の美挙

当町荻島地区西新井堀之内の田村新蔵さんは肺を患い、数年にわたつて自宅療養を続けておりましたが、病状思わしくなくついに本年二月庄和村の朝倉病院に入院しました、その後田村家では一家の支柱である主人を病院に送り、奥さん一人で子供五人の世話やら何やらで、日常生活は極度に困難に陥り、生活保護はうけておるものの悶々の日を送つておりました、これをみかねた当地区民生委員高橋源四郎さんは進んで、労力や物質面あるいは精神面に半年も何かと面倒をみてやりました、この高橋さんの行為はいつしか隣近所の知るところとなり、何とか隣近所協力して救済しようという申合せとなつて、現在では何につけ高橋さんを中心に、この田村家が一日も早く自立更生出来るようねがいつつ援助が続けられています、療養中の田村さんも日に日に快方に向つておるとのことです

越警だより

新しくなつた警察官の服装と階級章

まあ素適！と思わず女性にかたずを飲ませる程、スマートになつたと評判のお巡りさんの明るい制服は、今度改正された夏服で毎年五月から十月まで皆様にお目見得することになつております、ねずみ色シングル前三ツボタンのものですが、これと一緒に階級章が金属製のものに変りこれを両えりにつけることになりました



警視　警部　警部補　巡査部長　巡査